

北里大学医療衛生学部医療検査学科における 学術国際交流の取りくみ

石井直仁*[§] 黒崎祥史* 今井基貴*
久保誠* 古田玲子*

はじめに

医療検査学科では、国際的な視野と高い専門知識を持ち合わせた国際社会に通用するメディカルスタッフを養成することを目的とし、米国・トーマスジェファソン大学との学術国際交流として、交換留学制度が1997年から始まり現在に至ります。その後、他学科・専攻(理学療法学専攻、作業療法学専攻、診療放射線技術科学専攻)も加わり、これまでに、トーマスジェファソン大学との間で合計109名の派遣(うち学生84名)と69名の受け入れ(うち学生61名)を実施してきました。現在は、米国だけでなくアジア諸国(タイ王国・ワライラック大学、台湾・国立成功大学)との学術国際交流も積極的に進めています。

本稿では、北里大学・医療衛生学部ホームページにて報告しています内容を中心に紹介いたします^{1)~3)}。

I. 米国・トーマスジェファソン大学 (Thomas Jefferson University: TJU, Philadelphia) との交換留学制度

毎年3月に、本学科3年次学生2名がTJUに2週間滞在し、細胞検査士コースをはじめ臨床化学、血液学、等の講義・実習に参加しています。米国の臨床細胞学・臨床検査学教育を体験し、さらに米国病院における細胞・臨床検査の実態を詳細に

知ることができます¹⁾。

毎年6月には、TJUの学生2名が2週間、本学科の8研究室に滞在し、また大学病院見学を通じ、日本の医療の実情や最先端の研究について体験をします。研究室に滞在することから、各々研究室の4年生が中心に研究、発表会、昼食会、等を企画します。また、滞在中、4年生から1年生の有志学生による「東京・神奈川近辺の小旅行」を2回企画しています。TJUの学生の殆どは「日本の文化」に興味を持っていますので、「茶道教室」、「書道教室」、「華道教室」、「折り紙教室」、「日本語教室」(簡単な日本語、英語を交えた小旅行やアニメ等の若者文化の紹介)も開催しています。TJUの学生2名が滞在中、本学科4年生全員(105名)が直接・間接的に学術国際交流を体験することになり



写真1 TJU学生と鎌倉観光

* 北里大学医療衛生学部医療検査学科 [§] naohito3@ahs.kitasato-u.ac.jp



写真2 2024年度 TJU 交換留学(本学科3年生)

ます(写真1)。

残念なことに、2019年度より2023年度まで、新型コロナウイルス感染拡大防止により本学の海外留学派遣が休止となりました。2024年度3月より TJU への派遣(写真2)が再開しましたが、TJU の組織編制や予算の見直しに伴い、一週間滞在と隔年の交換留学に変更となりました。

II. アジアの大学との学術国際交流

1. タイ王国・ワライラック大学 (Walailak University, Nakhon Si Thammarat) との学術国際交流

ワライラック大学との交流は、2022年9月の



写真3 本学科学生(臨床化学研究室)とワライラック大学留学学生の交流

本医療衛生学部訪問を契機に始まり、これまでに MTI (Medical Technology International Program) に所属する学生8名および教員2名を約3ヵ月間、共同研究者(本学科・微生物学研究室(久保)、他)として受け入れ、「SARS-CoV-2の細胞内局在解析およびその生理的・病理的役割の解明」に関する共同研究を進めています。特に滞在中、本学科とワライラック大学との学生交流のため、留学生は微生物学研究室以外の研究室にも滞在し、学術と文化交流を深めています(写真3)。

2025年6月18日、ワライラック大学と学術交流に関する協定書を締結しました。今回の訪問では、ワライラック大学および附属大学病院の施設見学、今後の交流プログラムに関する意見交換を行いました(久保、今井、写真4)。学生および教員のさらなる交流が促進され、教育と研究の一層の発展が期待されます¹²⁾。

2. 台湾・国立成功大学 (National Cheng Kung University, 台南市) との学術国際交流

成功大学との交流は2016年から開始されました。2019年には学術交流協定を締結し、より実践的な学習を目的とした教員の相互派遣を実施しています(黒崎、写真5)。2019年以降は国際チーム医療演習に、留学生も参加し交流を深めています。我が国同様の少子高齢化社会である台湾との交流を通じて、将来的にも持続可能な医療(サステナブルな医療)に対する理解が深まることが期待されます¹²⁾。



写真4 ワライラック大学との学術交流に関する協定書の調印式



写真5 成功大学研究室訪問

III. 北里大学の学術国際交流の取り組み： 「国際チーム医療演習」

北里大学では、医療系5学部と2専門学校を擁し、14に及ぶ医療専門職を育成する教育を展開しています。また、大学附属の3つの病院と連携した臨床教育も大きな特徴となっています。これら本学の特性を生かし、学部間および学部・病院間の教育連携による「学術」を、他校に先駆けて2006年度より必修科目として開設、実施しています。他職種の知識・技術、患者接遇を理解させ、職種間の相互理解と連携、協働できる能力や患者を総合的にケアする能力を養う上で欠かせな

いプログラムとなっています。この「チーム医療演習」³⁾を、世界各国で医療を学ぶ学生とともに実施することで、より国際的な視野と高い専門知識を持った国際社会に通用するメディカルスタッフの養成に取り組むためのプログラムが、「国際チーム医療演習」²⁾です。

この「国際チーム医療演習」は、2015年度に本医療衛生学部を中心に、相模原キャンパスにて初めて北里大学とTJUの2大学で実施しました。TJUからは学生5名、北里大学からは学生36名が参加し、5チームに分かれて「患者にとって最善の医療とは何か」を議論するとともに、日米の医療制度や保険制度の違いについて理解を深めました。コロナ禍の2020年度は、オンラインで開催し8ヵ国10大学が参加しました。2024年度(2025年3月10日-3月15日)は、11ヵ国・地域14大学から34名の留学生が来日し(表1)、国際チーム医療演習を開催しました。本学からは、医療衛生学部(25名)、薬学部(11名)、医学部(6名)、看護学部(13名)の学生が参加しました。演習では、異なる国・職種で構成された12チームに分かれて議論を行い、各々討議の結果を発表しました(写真6)。

表1 2024年度「国際チーム医療」に海外から参加した留学生(34名)および専門分野

ケンタッキー大学(アメリカ)	薬学専攻2名	
マーブルク大学(ドイツ)	医学専攻3名	
マギル大学(カナダ)	医学専攻1名	看護学専攻1名
カレル大学(チェコ)	医学専攻2名	
ウォーリック大学(英国)	医学専攻1名	
プレヴェン医科大学(ブルガリア)	医学専攻5名	
インランドノルウェー応用科学大学(ノルウェー)	看護学専攻4名	
シャリテ医科大学(ドイツ)	看護学専攻2名	
TJU	医療検査学専攻1名	
FHキャンパスウィーン(オーストラリア)	作業療法学専攻1名	視覚矯正学専攻1名
ヤンゴン医療技術大学(ミャンマー)	医療検査学専攻1名	放射線技術学専攻1名 理学療法学専攻1名
国立成功大学(台湾)	作業療法学専攻1名	心理学専攻1名
アルスター大学(英国)	作業療法学専攻1名	
ヨンショーピング大学(スウェーデン)	作業療法学専攻1名	



写真 6 2024 年度「国際チーム医療演習」発表会

おわりに

学術国際交流は、世界の同世代の学生との医療を通じた交流により、異文化間の相互コミュニケーションを体験できることが何よりも魅力的なことです¹⁾。交換留学制度は、留学生在母国に戻り、様々な分野でのリーダー的存在になり、学生間、大学間、国家間の繁栄が想起されます。しかし、日本の臨床検査技師養成学校での取得単位が、海外の臨床検査技師養成学校で国家試験受験の単位に相当することは稀であり、短期交換留学に限られてしまいます。臨床検査技師養成学校での長期交換留学制度を充実させるためには、国家間の取り組みが重要です。

日本臨床検査学教育協議会「国際協力委員会」(本学科から石井(委員長)、黒崎)は、ADLM (Association for Diagnostics & Laboratory Medicine, 旧 AACC)、IFCC (International Federation of Clinical Chemistry) および New England Journal of Medicine が協力し作製した 18 テーマの臨床検査学の適応型学習教材「Learning Lab for Laboratory Medicine」⁴⁾を英語から 9 カ国語へ翻訳するプロジェクトの日本語翻訳確認を担当しています。「世界共通の学習教材で臨床検査学を学ぶ」ことは、直接的学術国際交流ではありませんが、将来世界

を視野に働く際、「言語は異なるけれど同じ教材で勉強したね!」と共有を得、そこから学術国際交流が始まることでしょう。

本学科は、今後も学術国際交流を通じ教育・研究の質の向上とグローバルな人材育成を目指し、また「医療に臨床検査は必要不可欠」な時代、将来世界で活躍する学生に世界を感じさせる環境作りを努めます。

文 献

- 1) 北里大学・医療衛生学部 学術国際交流
<https://www.kitasato-u.ac.jp/ahs/life/kokusai.html>
<https://www.kitasato-u.ac.jp/ahs/news/nid00006192.html>
<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/globalization/index.html>
<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/globalization/exchange/program.html#ank-link07>
- 2) 北里大学 国際チーム医療演習
<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/globalization/exchange/team/index.html>
- 3) 北里大学 チーム医療教育プログラム
<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/academics/feature/learn/team/index.html>
- 4) Learning Lab for Laboratory Medicine
<https://area9lyceum.com/laboratorymedicine/>